

1. 事業の位置付け

事務事業名	公共下水道合流改善事業		
事業担当	土木部 下水道整備課		
予算科目	05-010201-030300	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	02	②〈住みごこち〉 人にやさしい居住空間をつくる	
	02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等	下水道法施行令の一部を改正する政令		
対象・受益者	市民	事業期間	平成13年度～平成44年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
雨水・汚水の完全分流化により、水質汚濁防止ができ、区域内市民が快適に暮らしています。		合流式公共下水道区域から大雨の際に未処理水が河川へ放流されることを削減するため、貯留管などを設け公共用水域の水質を保全します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	業者等打合せ回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			60	60	60			
活動指標②	指標名	浸透樹設置個数						単位	個
	説明・算定式	合流区域の浸透樹累計設置個数							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			182	207	222			
成果指標①	指標名	緊急合流改善進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19：シールド工事27%、H20：導水管布設44%、H21：揚水施設築造：29%							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			27	71	100			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果 馬入雨水貯留管築造工事に着手した。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	汚濁負荷量の削減及び公衆衛生上の安全確保、夾雑物除去。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	分流式下水道並の水質とするため有効である。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	合流式下水道緊急改善事業として国庫補助金(5/10)を受けている。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	合流式下水道区域の完全分流化には、多大な事業費と時間を要するため当面の計画としてJR東海道線北側区域は雨水貯留管による対応とした。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 合流改善事業においては、JR東海道線南側の対応を国の動向や昨年的大雨を受けて完全分流化するか雨水貯留管による対応とするのか早期に方向付けをする必要がある。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				シールド工事・浸透樹設置	導水管布設工事・浸透樹設置	揚水施設築造工事・浸透樹設置		
財源内訳	国庫支出金	0	0	353,100	362,870	256,000	0	0
	県支出金	0	0	1,377	2,503	0	0	0
	起債	0	0	342,400	508,400	275,000	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	234	153	0	0	0
事業費 (A)		0	0	697,111	873,926	531,000	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	140.26				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	2.95	2.95	2.95	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	24,754	24,754	24,754	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	721,865	898,680	555,754	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合	
<判断理由> 緊急合流改善事業最終年度 (H17~H21) であるため現状の規模で継続していきたい。	
平成21年度 of 取組方針	
着実な事業の完了、供用開始。	
課長コメント	JR東海道線北側の合流区域の改善にほぼ目処が立った。今後は、南側の約260haの合流改善を進めて行くことになる。